

第56回定時株主総会



空港施設株式会社

AIRPORT FACILITIES CO.,LTD.

2025年6月26日

1

議決権数報告

2

監查報告

3 事業報告

4 計算書類報告

事業の経過及び成果

3

事業の経過及び成果

事業環境

航空業界

- 大幅な為替変動・物価高といった厳しい状況ながらも旺盛な訪日需要等に支えられる

好調に推移

事業環境

- 原材料費の高騰や
人手不足による物流費・人件費の上昇
 - ▶ 建築費をはじめ物価全体に影響
- 米国の政策動向による影響

引き続き注意が必要な状況

3

連結業績

売上高 311.2億円 前期比 19.9%増 

営業利益 44.6億円 前期比 40.4%増 

経常利益 46.2億円 前期比 45.7%増 

親会社株主に帰属する
当期純利益 25.7億円 前期比 27.6%増 

3

連結業績

売上高 311.2億円 前期比 19.9%増 

営業利益 44.6億円 前期比 40.4%増 

経常利益 46.2億円 前期比 45.7%増 

親会社株主に帰属する
当期純利益 25.7億円 前期比 27.6%増 

- 空港内不動産事業 : 賃貸条件の見直し、臨時使用による賃貸収入増加
- ノンアセット事業 : 事務所ビルの売却
- 給排水運営事業 : 給排水使用量の増加、給排水単価の見直し

3

連結業績

売上高 311.2億円 前期比 19.9%増 

営業利益 44.6億円 前期比 40.4%増 

経常利益 46.2億円 前期比 45.7%増 

親会社株主に帰属する
当期純利益 25.7億円 前期比 27.6%増 

- 匿名組合等投資利益・受取配当金等の増加

3

連結業績

売上高 311.2億円 前期比 19.9%増 

営業利益 44.6億円 前期比 40.4%増 

経常利益 46.2億円 前期比 45.7%増 

親会社株主に帰属する
当期純利益 25.7億円 前期比 27.6%増 

- 一部賃貸用施設(羽田空港一丁目地区内)について減損損失を計上したものの、増収要因が上回る

セグメント別の業績

- ⊕ 既存物件の賃貸条件の見直し
- ⊕ 臨時使用による賃貸収入
- ⊕ 羽田空港国内貨物地区の生鮮センター稼働に係る再配置に伴う賃料収入等の増加

売上高

168.9億円

(前期比 6.2%増)

セグメント利益

33.9億円

(前期比 42.8%増)

3

空港外不動産事業

ノンアセット事業

- + 複数棟の事務所ビルを取得し
付加価値増大に傾注
- + 事務所ビルを1棟売却

売上高

63.7億円

(前期比 112.9%増)

セグメント利益

14.7億円

(前期比 25.7%増)

3

空港内インフラ事業

熱供給事業

+ 冷温熱の販売量の増加

給排水運営事業

+ 給排水使用量の増加

+ 給排水単価の見直し

売上高

70.7億円

(前期比 12.3%増)

セグメント利益

8.6億円

(前期比 5.3%増)

3

その他の事業

海外事業

⊕ 円安の影響

⊖ 海外現地機能強化の
推進による費用増

売上高

7.7億円

(前期比 1.6%増)

セグメント利益

2.9億円

(前期比 0.7%減)

その他の事項

招集ご通知 26～44ページ
及び当社ウェブサイト等に掲載

4 計算書類報告

4

連結貸借対照表

(億円)

資産の部		負債の部	
流動資産	394.2	流動負債	114.1
		固定負債	345.6
固定資産	691.5	負債合計	459.8
		純資産の部	
資産合計	1,085.8	純資産合計	625.9

4

連結損益計算書

売上高 311.2億円 前期比 19.9%増 

営業利益 44.6億円 前期比 40.4%増 

経常利益 46.2億円 前期比 45.7%増 

親会社株主に帰属する
当期純利益 25.7億円 前期比 27.6%増 

その他の連結計算書類 当社単体の計算書類

招集ご通知 47～48ページ
及び当社ウェブサイト等に掲載

5 対処すべき課題他

招集ご通知 28～30ページ

計画の進捗状況

- 航空需要の回復
- 成長に向けた各種取り組みの推進



2025年度の業績予想は
2028年度の数値目標を一部早期達成

計画の進捗状況

- 重点施策「羽田空港一丁目プロジェクト」
 - ▶ 建築費高騰等の影響を踏まえた再構築への取り組み
- 企業価値向上を目的としたIR・株主還元等への取り組み



本計画の着実な進捗と収益基盤の強化に尽力

5

中長期経営計画 (FY2022~FY2028) の見直し

計画の進捗状況

本計画開始後3年の経過により
当社を取り巻く事業環境が大きく変化

重点施策の進捗
事業戦略の精査

資本コスト・株価を意識した
経営の実現

中長期経営計画を見直し

見直し概要

① 事業戦略の再構築

羽田空港一丁目プロジェクト計画方針の一部決定を踏まえた重点施策の再編

② 資本政策の強化

資本効率改善と市場評価向上に向けた資本政策の強化

③ FY2028数値目標

見直し後の計画に基づき上方修正 (一部数値目標の変更)

① 事業戦略の再構築

羽田空港一丁目プロジェクト計画方針の
一部決定を踏まえた重点施策の再編

当社グループの成長を支える事業戦略

重点施策Ⅰ

羽田空港内事業の
更なる強化

重点施策Ⅱ

ノンアセット
事業の拡大

重点施策Ⅲ

事業領域拡大・
成長投資の実行

3つの重点施策を中心に
事業ポートフォリオの最適化による更なる収益力向上

② 資本政策の強化

資本効率改善と市場評価向上に向けた資本政策の強化

資本施策Ⅰ

キャッシュ・
アロケーション方針
(有利子負債調達の
有効活用)

資本施策Ⅱ

株主還元
の大幅拡充
[配当方針見直し、
自己株式取得の実施]

資本施策Ⅲ

上場市場の見直し・
株主優待制度の廃止

資本施策Ⅳ

IRの強化
(株主・投資家との
対話促進)

5

中長期経営計画 (FY2022~FY2028) の見直し

③ FY2028数値目標

見直し後の計画に基づき上方修正 (一部数値目標の変更)

持続的な成長を続け、次のステージへの収益基盤を構築

FY2028
数値目標



売上高
400億円

当期純利益
38億円

ROE
6.0%

5

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

- PBR：0.5倍程度で推移
 - ▶ 低PBRはROEが低位であることが要因
- 直近のROEは株主資本コストを下回る（FY2024：4.3%）

重点施策・資本施策等の実施



本計画終了時のROE水準目標：6.0%

5

サステナビリティに関する取り組み

環境

- 当社グループ保有施設における高効率機器への切り替え
- 太陽光発電設備設置による再生可能エネルギーの利用促進
- 航空機汚水処理施設等の運用による水質保全への貢献

社会

- 安全・安心を実感できる施設展開と運営を目指し、災害時の態勢を確保
- 働き方改革・持続的な成長に向けた人財戦略への取り組み
- 地域の清掃活動への参加など地域社会の一員としての取り組み

ガバナンス

- 取締役会や各委員会等で課題の抽出と必要な取り組みを実施
 - ▶ コーポレート・ガバナンスの強化の推進



**引き続き、ご理解ご支援を賜りますよう
お願い申し上げます**